

大同・オムロンが注目の一戦を制す

～ 第30回日本ハンドボールリーグ第16週～

第30回日本リーグ第16週は1月14日、15日の両日、岩手、熊本などで男子3試合、女子2試合が行われた。

男女とも首位攻防戦が生まれ、目の離せぬ試合の連続。1470人の観衆が詰めかけた14日、岩手で男子・大崎電気 - 大同特殊鋼戦は、前半18分、白元詰の連打でわずかに抜け出した大同が、19 - 16と3点をリードして後半へ。

大同は後半スタートも大崎・宮崎を密着マークするなど先手をとって仕掛けていく。大崎も広くなった大同ディフェンスの間を利用して追撃するものの、要所で大同の守護神・荻田がファインセーブを連発。攻めても白元詰、李才佑、末松を中心に、大崎ディフェンスに的を絞らせず、ハイテンポで加点した大同は、後半は同点さえ許すことなくゴールへ。注目の一番を制して単独首位に立った。

同日、広島での湧永製薬 - ホンダ戦は、19 - 9と前半の大量リードを余裕を残して守った湧永が制し、佐賀でのトヨタ紡織九州 - ホンダ熊本戦は、前半、出遅れたものの、後半、G K谷川の堅守から自慢の速攻を繰り出したトヨタ紡織が逆転勝ち。悲願のプレーオフ進出にまた一歩前進した。

世界選手権のためのブレイク期間が明け、戦闘再開となった女子は、14日、ソニーセミコンダクタ九州が地元・鹿児島で北国銀行を迎えて対戦。北国のシュートミス、退場をきっかけとらえたソニーが、多彩な攻撃で効果的な連続得点をマークし、プレーオフ進出に向け当面のライバルとなる北国との直接対決を制した。

15日、2200人もの大観衆が見つめた熊本でのオムロン - 広島メイプルレッズ戦は、昨年末に行われた全日本総合決勝のリターンマッチともなり、見どころ満載。

ミスもあったものの、昨年末の勝利で戦い方のヒント、自信をつかんだオムロンは、メイプルレッズに大きな流れを与えることなく踏みとどまり、坂元、洪廷昊らで着実にチャンスを活かしてリードを奪った。

金鎮順の出場停止で林五郎監督自らコート復帰し、必勝態勢のメイプルレッズも呉成玉を軸に後半9分、16 - 19と3点差まで追い上げ、意地を見せかけたが、そこから再加速したオムロンが29 - 25で逃げ切り勝ち。昨年末からの勢いを見せつけ、6勝1敗でメイプルレッズと並んだ。

次週からは男子がアジア選手権のためのブレイク期間に突入（男子の再開は第22週、2月25日から）。第17週は鹿児島と石川で女子2試合のみの開催となり、リーグ再開初戦を飾ったソニー、オムロンが、それぞれHC名古屋、北国銀行の挑戦を受ける。



通算200得点を達成したオムロン・洪廷昊

第17週の日程

[1 部]

1月21日(土)鹿児島・ソニーセミコンダクタ九州(株)体育館(JR日豊本線国分駅徒歩20分) 14:00～(女)ソニー × HC名古屋
1月22日(日)石川・小松総合体育館(JR北陸本線小松駅徒歩20分) 13:00～(女)北国銀行 × オムロン

<p>1月14日(土) 男子1部 岩手・花巻市総合体育館</p> <p>大同特殊鋼 40 (19-16) 36 大崎電気 14勝0分2敗 13勝0分3敗</p> <p><1/2> K 荻田 豊田 5/6 5/7 松林 前中 0/0 0/1 7/14 末松 川川 3/11 0/0 中谷 佐藤 0/0 0/0 市原 藤島 4/7 3/8 武田 永岩 4/9 0/0 畠中 森本 1/1 2/2 0/0 大木 濱太 0/1 11/15 李才 濱口 K <0/1> K 高木 東 6/6 1/5 山本 猪原 0/1 <1/4> 3/4 9/15 白元 猪窪 0/0 1/1 富田 窪小 0/0 0/0 渡久川 宮崎 7/9</p> <p>3/4 37/65 22(FPP)9 34/57 2/3 審判(多田・中館) 観客 1470人</p>	<p>1月14日(土) 男子1部 広島・佐伯区スポーツセンター</p> <p>湧永製菓 34 (19-9) 29 ホンダ 11勝1分4敗 6勝1分9敗</p> <p>3/6 下川 中谷 0/1 7/15 小野 鶴見 3/3 5/9 山中 柳本 0/2 0/0 福田 河瀬 2/3 1/1 吉田 藤田 0/0 0/0 小薮 横地 5/6 0/0 東長 濱加 5/11 3/3 4/10 東 根長 0/0 <0/1> K 坪根 谷口 6/12 0/0 小沢 野嶋 0/0 0/1 杉村 阿部 2/5 <0/2> K 松山 井部 K 7/12 渡辺 小倉 3/6 5/6 山口 四方 K <2/4></p> <p>2/4 32/60 11(FPP)21 26/49 3/3 審判(家永・福島) 観客 357人</p>	<p>1月14日(土) 女子1部 鹿児島・霧島市国分体育館</p> <p>ユニセコウ 29 (17-11) 22 北国銀行 3勝0分3敗 1勝0分5敗</p> <p><0/1> K 中島 木澤 K <0/1> 1/1 5/15 郭恵 渡邊 1/1 1/4 長野 上町 5/11 0/1 3/5 0/0 山田 宮前 1/2 2/6 田中 新村 8/14 1/2 0/0 石崎 新田 0/3 1/1 山田 小野澤 2/5 0/0 水田 船本 0/0 6/8 高武 井代 0/4 1/2 0/0 出雲 田住 0/1 <3/4> K 飛田 山吉 1/3 5/5 寺井 上若 0/1 0/0 東松 0/1 5/11 金城 谷口 2/3</p> <p>4/6 25/50 4(FPP)11 20/48 2/5 審判(浜田・小笠原) 観客 456人</p>	<p>1月14日(土) 男子1部 佐賀・トヨタ紡織九州クレインアリーナ</p> <p>トヨタ紡織九州 32 (14-16) 28 ホンダ熊本 8勝0分9敗 0勝0分17敗</p> <p>K 田中利 藤田 K 3/ 中 島 大 宮 2/ 0/ 村上直 米 満 0/ 1/ 植 木 上 田 0/ 3/ 村上秀 本 多 5/ 2/ 4/ 呉相民 大 井 7/ 3/ 佐久間 大 佐 伯 0/ 2/ 鶴 田 松 岡 K 2/ 田中慎 松 本 3/ 6/ 阪 松 延 K K 谷 川 池 辺 3/ 1/ 錦 戸 櫛 田 6/ 5/ 石 黒 0/ 朴正鎮</p> <p>2/ 30/ 3(FPP)13 26/ 2/ 審判(佐路・佐藤) 観客 530人</p>
---	---	---	---

<p>1月15日(日) 女子1部 熊本・山鹿市総合体育館</p> <p>オムロン 29 (15-8) 25 広島メイプル 6勝0分1敗 6勝0分1敗</p> <p><2/7> K 勝田 高森 K 3/4 水野 土屋 0/0 0/0 安心院 樹山 0/0 0/0 許順栄 青戸 2/5 0/0 西本 前本 4/4 3/5 0/0 吉田 大河 0/0 3/5 佐久川 林五 3/9 1/2 6/8 坂元 菅野 0/1 3/6 久野 坪井 0/0 <1/2> K 藤間 呉成玉 8/12 2/4 0/0 城内 坂口 0/0 0/1 巻 井 K <2/5> 3/5 東 濱 杉本 2/3 3/3 8/10 洪延 石山 0/0</p> <p>3/5 26/39 9(FPP)9 19/34 6/9 審判(浜田・小笠原) 観客 2200人</p>	<p>北陸電力が地元で優勝決める 神田の速攻で好スタートを切った北陸電力は、その後も手強いDFでトヨタ自動車のミス誘い、高橋の速攻や多彩なパス回しからの落合のポストシュートや桜井のステップシュート、高橋のサイドシュートなどで次々と加点。前半終盤には2人退場のピンチもGK有江の好セーブでしのぎ、22-8と大差をつけて前半を折り返した。後半に入ってトヨタ自動車も攻守にエンジンがかかり、倉田の速攻、福田のミドルシュートなどで追撃態勢に転じたが、北陸電力は後半から出場のGK安藤が気迫のセーブで主導権をキープ。中盤以降も着実に加点するなど危なげない試合運びで地元優勝を決めた。</p>	<p>1月14日(土) 男子2部 福岡・北陸電力福井体育館フレア</p> <p>北陸電力 36 (22-7) 19 トヨタ 7勝0分0敗 1勝0分6敗</p> <p>K 西田 山本 K <0/1> 9/10 高橋 厚沢 1/8 9/12 神合 高野 0/0 2/2 落合 大塚 1/2 4/4 3/8 桜井 井中 2/2 2/4 前田 吉永 0/3 0/4 高田 倉田 6/7 4/1 北村 佐藤 K <0/2> 3/6 大谷 澤田 0/4 0/0 表 肥 0/0 <1/3> K 安藤 福本 K <0/1> K 有江 香井 2/3 福田 4/8 2/3 金子 1/2</p> <p>4/4 32/47 11(FPP)5 17/39 2/3 審判(浜野・阿部羅) 観客 200人</p>	<p>お詫び 1月14日(土)開催のトヨタ紡織九州 - ホンダ熊本戦の個人記録については、現時点で確定していません。暫定の個人得点のみの掲載です。確定した時点で再度掲載いたします。 試合時間変更 2月18日(土)開催の京都大会 (変更前) 京都市体育館 14:00~オムロン - 北国銀行 (変更後) 15:00~オムロン - 北国銀行 会場の変更はありません。</p>
---	--	---	--

男子2部個人賞レース(第16週終了)

得点王

1 福田 拓馬 (トヨタ自動車) 57点 (7試合)
2 桜井 涉 (北陸電力) 47点 (7試合)
3 神田 友和 (北陸電力) 46点 (7試合)
4 O・グリムスタード (H C 東京) 32点 (4試合)
5 高橋 準 (北陸電力) 31点 (7試合)
6 佐藤 豪洋 (豊田合成) 30点 (6試合)
7 高田 哲志 (北陸電力) 26点 (7試合)
8 水野 裕矢 (H C 東京) 25点 (6試合)
9 桑田 浩太 (豊田合成) 24点 (6試合)
10 落合 信也 (北陸電力) 23点 (7試合)
10 倉田 正洋 (トヨタ自動車) 23点 (7試合)
10 前田 亮介 (北陸電力) 23点 (7試合)
13 原 貴之 (豊田合成) 22点 (6試合)
14 古川 眞司 (H C 東京) 21点 (5試合)
15 田中 将 (H C 東京) 20点 (5試合)

7 桑田 浩太 (豊田合成) 24点 (6試合)
8 落合 信也 (北陸電力) 23点 (7試合)
8 倉田 正洋 (トヨタ自動車) 23点 (7試合)
8 前田 亮介 (北陸電力) 23点 (7試合)

シュート率賞

1 落合 信也 (北陸電力) 0.719 23点/32射
2 倉田 正洋 (トヨタ自動車) 0.697 23点/33射
3 高田 哲志 (北陸電力) 0.684 26点/38射
4 神田 友和 (北陸電力) 0.590 46点/78射
5 高橋 準 (北陸電力) 0.585 31点/53射

7mスロー得点賞

1 桜井 涉 (北陸電力) 27点 (7試合)
2 福田 拓馬 (トヨタ自動車) 23点 (7試合)
3 水野 裕矢 (H C 東京) 9点 (6試合)
3 武藤 崇之 (H C 東京) 9点 (4試合)
5 門野 学 (豊田合成) 7点 (6試合)

7mスロー阻止賞

1 安藤 功規 (北陸電力) 0.308 4本/13射
2 有江 啓 (北陸電力) 0.273 3本/11射
3 佐藤 優 (トヨタ自動車) 0.250 3本/12射
3 稲本 圭亮 (トヨタ自動車) 0.250 2本/8射
5 宇田川 敏郎 (H C 東京) 0.167 2本/12射

7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象

選手・役員登録情報

男子1部 大同特殊鋼
24 地引 貴志 1983.5.20 182 cm 82 kg 右 高野小 けやき台中 伊奈高 日本体育大
25 浦田 悠司 1983.10.26 174 cm 74 kg 右 本渡中 熊本国府高 日本体育大
ともに1月22日より出場可能 ・登録抹消 19 姜 在源

男女1部個人賞レース 第16週終了

《男子》 《女子》

得点王

1 白元 喆 (大同特殊鋼)	141点	(15試合)	1 郭 惠 静 (ソニー)	50点	(6試合)
2 宮崎 大輔 (大崎電気)	110点	(16試合)	2 金 鎮 順 (メイプルレッズ)	48点	(5試合)
3 末松 誠 (大同特殊鋼)	99点	(16試合)	3 田中 美音子 (ソニー)	42点	(6試合)
4 野村 広明 (トヨタ車体)	98点	(14試合)	4 佐藤 由紀恵 (HC名古屋)	36点	(6試合)
5 村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	90点	(16試合)	5 中村 尚美 (北国銀行)	34点	(6試合)
6 小倉 学 (ホンダ)	84点	(16試合)	6 大前 典子 (メイプルレッズ)	33点	(7試合)
7 豊田 賢治 (大崎電気)	78点	(16試合)	7 東濱 裕子 (オムロン)	28点	(7試合)
8 山口 修 (湧永製薬)	77点	(16試合)	8 杉本 絵美 (メイプルレッズ)	27点	(7試合)
9 下川 真良 (湧永製薬)	76点	(16試合)	9 水野 恵子 (オムロン)	26点	(7試合)
9 呉 相 民 (トヨタ紡織九州)	76点	(16試合)	9 水野 由加里 (HC名古屋)	26点	(6試合)
11 東 俊 介 (大崎電気)	71点	(16試合)	9 洪 延 昊 (オムロン)	26点	(7試合)
12 加藤 圭介 (ホンダ)	68点	(14試合)	12 富田 有美 (オムロン)	25点	(5試合)
13 大井 守 (ホンダ熊本)	67点	(15試合)	12 佐久川 ひとみ (オムロン)	25点	(7試合)
14 趙 範 衍 (大同特殊鋼)	63点	(10試合)	14 坂元 智子 (オムロン)	24点	(7試合)
15 古家 雅之 (湧永製薬)	62点	(15試合)	14 上町 史織 (北国銀行)	24点	(6試合)

フィールド得点賞

1 宮崎 大輔 (大崎電気)	110点	(16試合)	1 郭 惠 静 (ソニー)	42点	(6試合)
2 白元 喆 (大同特殊鋼)	103点	(15試合)	2 金 鎮 順 (メイプルレッズ)	34点	(5試合)
3 末松 誠 (大同特殊鋼)	97点	(16試合)	3 大前 典子 (メイプルレッズ)	33点	(7試合)
4 村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	90点	(16試合)	4 田中 美音子 (ソニー)	30点	(6試合)
5 小倉 学 (ホンダ)	84点	(16試合)	5 東濱 裕子 (オムロン)	28点	(7試合)
6 野村 広明 (トヨタ車体)	79点	(14試合)	5 佐藤 由紀恵 (HC名古屋)	28点	(6試合)
7 豊田 賢治 (大崎電気)	78点	(16試合)	7 水野 由加里 (HC名古屋)	26点	(6試合)
8 山口 修 (湧永製薬)	77点	(16試合)	7 洪 延 昊 (オムロン)	26点	(7試合)
9 下川 真良 (湧永製薬)	76点	(16試合)	9 水野 恵子 (オムロン)	25点	(7試合)
10 東 俊 介 (大崎電気)	71点	(16試合)	9 佐久川 ひとみ (オムロン)	25点	(7試合)

シュート率賞 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 東 俊 介 (大崎電気)	71点/91射 0.780	1 大前 典子 (メイプルレッズ)	33点/50射 0.660
2 山口 修 (湧永製薬)	77点/106射 0.726	2 水野 恵子 (オムロン)	25点/38射 0.658
3 豊田 賢治 (大崎電気)	78点/112射 0.696	3 佐久川 ひとみ (オムロン)	25点/39射 0.641
4 下川 真良 (湧永製薬)	76点/111射 0.685	4 水野 由加里 (HC名古屋)	26点/41射 0.634
5 村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	90点/144射 0.625	5 金 鎮 順 (メイプルレッズ)	34点/55射 0.618

7mスロー得点賞

1 白元 喆 (大同特殊鋼)	38点	(15試合)	1 富田 有美 (オムロン)	25点	(5試合)
2 加藤 圭介 (ホンダ)	21点	(14試合)	2 吉田 祥子 (オムロン)	14点	(5試合)
3 浜本 忠志 (湧永製薬)	20点	(13試合)	2 金 鎮 順 (メイプルレッズ)	14点	(5試合)
4 野村 広明 (トヨタ車体)	19点	(14試合)	4 田中 美音子 (ソニー)	12点	(6試合)
4 前田 誠一 (大崎電気)	19点	(16試合)	5 中村 尚美 (北国銀行)	10点	(6試合)

7mスロー阻止率賞 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1 四方 篤 (ホンダ)	8本/25射 0.320	1 高森 妙子 (メイプルレッズ)	5本/10射 0.500
2 田平 龍太郎 (トヨタ車体)	17本/55射 0.309	2 田代 ひろみ (北国銀行)	11本/28射 0.393
3 谷川 一寿 (トヨタ紡織九州)	8本/26射 0.308	3 吉村 あゆみ (HC名古屋)	3本/8射 0.375
4 濱口 靖 (大崎電気)	5本/17射 0.294	4 飛田 季実子 (ソニー)	9本/29射 0.310
5 坪根 敏宏 (湧永製薬)	7本/25射 0.280	5 勝田 祥子 (オムロン)	7本/23射 0.304

このランキングには、1/14(土)開催のトヨタ紡織九州 - ホンダ熊本戦の記録が反映されておりません。両チームの記録は1試合少ない時点の記録です。

第30回日本ハンドボールリーグ成績表

第16週終了 1月15日

順位	1部男子	大同特殊鋼	大崎電気	湧永製薬	トヨタ紡織九州	ホンダ	トヨタ車体	ホンダ熊本	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	大同特殊鋼		33 30 40	32 27	37 37 32	35 35	37 30 31	32 36 40	16	14	0	2	28	544	456	88
2	大崎電気	32 37 36		32 28	29 39 40	41 35	39 37 36	32 38 40	16	13	0	3	26	571	470	101
3	湧永製薬	31 28	31 33		25 26 23	28 36 34	28 24 29	25 24 31	16	11	1	4	23	456	411	45
4	トヨタ紡織九州	31 28 31	28 30 26	24 28 24		32 30 26	25 38	31 32 32	17	8	0	9	16	496	511	-15
5	ホンダ	30 30	32 27	21 28 29	30 25 36		27 25 34	33 31 35	16	6	1	9	13	473	474	-1
6	トヨタ車体	30 21 29	20 29 33	24 23 29	30 26	25 25 24		31 36	16	3	2	11	8	435	493	-58
7	ホンダ熊本	20 21 21	26 31 21	15 23 24	26 22 28	24 20 24	28 25		17	0	0	17	0	399	559	-160

順位	1部女子	オムロン	メイブルレス	ソニー	北国銀行	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	オムロン		27 29	28 26	30	38 35	7	6	0	1	12	213	157	56
2	広島メイブルレス	30 25		42	32 30	28 26	7	6	0	1	12	213	176	37
3	ソニーセミコンダクタ九州	25 25	37		34 29	39	6	3	0	3	6	189	171	18
4	北国銀行	21	27 18	31 22		29	6	1	0	5	2	148	175	-27
5	HC名古屋	20 11	24 14	22	20		6	0	0	6	0	111	195	-84

順位	2部男子	北陸電力	HC東京	豊田合成	トヨタ自動車	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	北陸電力		23 27	29 39	28 30 36	7	7	0	0	14	212	145	67
2	HC東京	21 20		35 38	24 28	6	4	0	2	8	166	146	20
3	豊田合成	18 19	28 29		25 25	6	1	0	5	2	144	188	-44
4	トヨタ自動車	24 24 19	20 19	28 19		7	1	0	6	2	153	196	-43

この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1.対戦間勝点 2.対戦間得失点差 3.総得失点差 4.総得点 の多い順で順位付けしています。